

「毎日出社」比率が73.6%に増加。一方「リモートワーク実施率」は減少

手の除菌、検温、入退室管理を一つにしたシステムMORIdoor（守りドア）12月1日発売

～withコロナ時代の新しい常識に～



手の除菌・検温・本人認証3つのステップを
自動でチェックし、入室を許可します。



初めまして。株式会社SYNCHRO（東京都千代田区）の代表をつとめております室木勝行です。

この度、2020年12月1日より、withコロナ時代に対応した新しいオフィス入退室管理システム「MORIdoor（守りドア）」の販売を開始します。

新型コロナウイルス感染拡大の第3波がこの秋冬にかけて到来しつつあることが、各種メディアでも報道されており、一部地方自治体では感染拡大防止に向けた措置の検討が始まっております。

「カオナビHRテクノロジー総研調査レポート」によれば、20代～60代の自由業を除く有業者のうち、「毎日出社」する比率は58.5%（2020年5月調査）から73.6%（2020年8月調査）に増加、一方「リモートワーク実施率」は35.5%（2020年5月調査）から23.2%（2020年8月調査）に減少しており、就労環境における新型コロナウイルス感染拡大防止対策が、ますます重要になってきております。

（出典：カオナビHRテクノロジー総研 URL <https://ri.kaonavi.jp/20200917/>）

今回販売を開始する、オフィス入退室管理システム「MORIdoor（守りドア）」は、こうした社会のニーズに対応するために開発しました。本人認証装置と手指除菌ユニットとサーマルカメラ（オプション）を組み合わせることで、入室者の本人認証を行うと同時に、体温と手指除菌をチェックし、検温と手指除菌を行わない場合には入室させないことで、就労環境における徹底した水際対策を行うことを可能とするシステムです。

当社は、「あくなきパーフェクトアクセスコントロールの追求」を企業理念として掲げて事業を展開しております。当社の主力製品である静脈認証装置「VP-Ⅱ X」は既に3,000企業・団体に14,000台の出荷実績を有しており、「VP-Ⅱ X」で培った技術・ノウハウと、新型コロナ感染拡大防止のための機器を連動させたシステム「MORIdoor（守りドア）」によって、より安全・安心に働ける就労環境が実現できるものと考えております。

私たちの暮らしやビジネスも、コロナと共存する「withコロナ」の時代に、本システムをより多くの企業にお届けしていくことで「withコロナ」社会に貢献していく決意です。

大変お忙しいとは存じますが、この件につきましてご取材いただき、報道のお力でより多くの皆さまへ届けるきっかけとしていただけましたら幸いです。

名称：withコロナ時代のオフィス入退室管理システム「守りドア」

～ 手の除菌、検温、入退室管理を一つにしたシステム ～

発売日：2020年12月1日

製造販売元：株式会社SYNCHRO

【お問い合わせ先】

株式会社SYNCHRO 管理・支援部 大竹 邦弘（おおたけくにひろ）

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-10-9 九段VIGAS 5階 TEL：03-4570-3291

Mail：otake@udc-synchro.co.jp

HP：https://www.udc-synchro.co.jp/

